

北薩感染症情報

2019年第45週(11月4日～11月10日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1
北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課
電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127
E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中 ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	基準値	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	
		定点報告数													
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	81	57	8.14	↓	-	1	16	3.20	↗	-	
小児科定点	RS	-	-	-	9	1	0.25	↓	-	5	3	1.00	↓	-	
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	-	3	1	0.25	↓	-	1	2	0.67	↗	-	
	A群溶血性 レンカ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-	5	5	1.25	→	-	8	5	1.67	↓	-	
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	-	25	11	2.75	↓	-	1	6	2.00	↗	-	
	水痘	2.0	1.0	1.0	-	1	0.25	↗	-	-	-	-	→	-	
	手足口病	5.0	2.0	-	3	-	-	↓	-	4	9	3.00	↗	-	
	伝染性紅斑	2.0	1.0	-	10	15	3.75	↗	◎	-	-	-	→	-	
	突発性発疹	-	-	-	4	1	0.25	↓	-	-	3	1.00	↗	-	
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-	2	8	2.00	↗	-	1	-	-	↓	-	
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	-	1	0.25	↗	-	-	-	-	→	-	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-	-	-	-	→	-	/	/	/	/	/	
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	-	2	1	1.00	↓	-	/	/	/	/	/	
高齢者定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
インフルエンザ 入院報告	-	-	-	-	-	/	/	-	/	/	/	/	-		
報告数合計		-	-	-	144	102	/	↓	/	21	44	/	↗	/	

<注意報・警報>
 ・川薩保健所管内 伝染性紅斑の警報が12週連続継続中。
 ・出水保健所管内 警報・注意報はありません。

<全数報告>
 ・川薩保健所管内 日本紅斑熱(患者1人)
 ・出水保健所管内 なし

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>
 ・川薩保健所管内 なし
 ・出水保健所管内 なし

(注意)川薩保健所管内のインフルエンザの報告が定点あたり「8.14」と、流行発生注意報基準「10」を下回りましたが、今後も感染の予防に努めてください。

(注意)川薩保健所管内で「伝染性紅斑」の
警報が12週連続発令中です。

○伝染性紅斑について

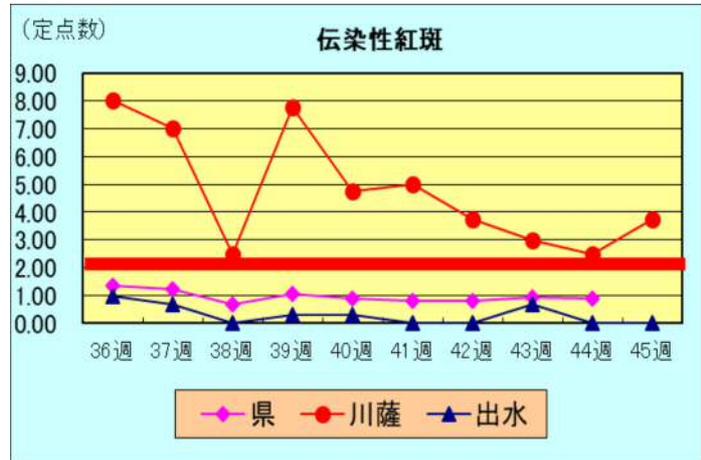
【警報開始基準値 2.0, 警報終息基準値 1.0】

(第45週は川薩・出水のみ掲載)

第45週の伝染性紅斑の発生状況は、川薩保健所管内からは、**15名**(定点あたり報告数**3.75**)の報告がありました。

12週連続の警報です。引き続き感染の予防をお願いします。

出水保健所管内からは報告がありませんでした。



伝染性紅斑とは、ヒトパルポウイルスB19を病原体とし、幼児、学童の小児を中心にみられる流行性の発疹性疾患です。両頬がリンゴのように赤くなることから「リンゴ病」と呼ばれています。

【臨床症状】

特徴的な症状は、感染後10～20日の潜伏期間を経て出現する両頬の境界鮮明な紅斑であり、続いて腕、脚部にも両側性に網目状・レース様の発疹がみられる。

また、感染後約1週間で、約半数にインフルエンザ様症状（倦怠感、発熱、筋肉痛、鼻汁、頭痛など）などを呈することがある。

基本的には、予後良好であるが妊婦が感染すると、垂直感染を呈し、流産や死産、胎児水腫を起こすことがある。

※垂直感染とは、病原体が親から直接その子孫に伝播される感染様式のこと。

【感染経路】

通常は飛沫感染もしくは接触感染である。

【予防法】

一般的な予防対策として、手洗い、うがい、咳エチケットを心がけることが重要です。現在のところワクチンはない。妊婦は感冒様症状の患者に近づかないようにしましょう。



りんご病影響、妊婦への感染注意...



りんご病（伝染性紅斑）

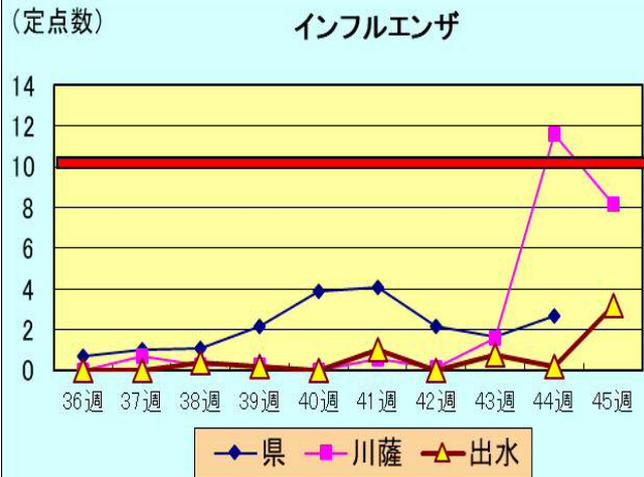
(注意) 川薩保健所管内は、インフルエンザの流行発生注意報基準を下回りましたが、県平均よりも高い状況ですので、今後も引き続き感染の予防に努めてください。

(第45週は川薩・出水のみ掲載)

第45週のインフルエンザの発生状況は、川薩保健所からは**57名**(定点あたり報告数**8.14**)となり、「**インフルエンザ流行発生注意報の基準である10.0**」を下回りました。

出水保健所からは16名(定点あたり報告数3.20)であり、今後も感染予防に努めてください。

下記の内容を参考に予防に努めてください。



◎ 特徴と対策について

「重症化して合併症を引き起こす、いちばん身近な感染症」

○ インフルエンザの合併症は死に至る場合も

特に高齢者にとって、インフルエンザは大変危険な病気です。抵抗力が弱い高齢者や乳児、持病のある人は、肺炎を併発し、最悪の場合は死に至る場合もあります。

○ インフルエンザの予防法

- ・手洗い、マスク、予防接種
(飛沫感染、接触感染の予防)

○ インフルエンザにかかってしまったら

- ・すみやかに受診
- ・自宅療養の注意点
家族への感染を防ぐため、なるべく家族から離れた個室で療養し、マスク着用、部屋の換気を行うことが重要です。

○ 咳エチケットも「うつさない」「うつらない」ための重要なマナー

咳やくしゃみがでるときには、ティシュペーパーなどで鼻と口を押さえることが重要です。

※ 厚生労働省インフルエンザ啓発ツールヘリンクしています。



インフルエンザの感染を防ぐポイント...



インフルエンザ予防接種...